

旧小樽区公会堂

- 物件名：旧小樽区公会堂
- 住所：花園5-2-1
- 電話：22-2796
- 所有者：小樽市
- 運営者：小樽ビル管理・大幸総業グループ
代表法人 株式会社小樽ビル管理
- 人員：2人
- 建物履歴
 - 明治44年 皇太子行啓に際して藤山要吉の寄附にて創建
(現市民会館の場所)
 - 昭和戦後 引揚者収容の寮として使用
 - 昭和25年 内部を改築し市民の各種会合に使用
(洋室30坪2室、和室15坪3室)
 - 昭和36年 公会堂立地箇所以小樽市民会館建設に伴い現
在地(野外相撲場があったゆるい傾斜地)に
移築(1階に集会室、結婚式場、日本間2室、
教養室3室、地下に大ホール)
 - 昭和37年 庭内正面と後方に芝生と樹木、側面に枯山水
と茶庭整備
 - 昭和60年 旧岡崎家能舞台と併わせて小樽市歴史的建造
物指定

※旧岡崎家能舞台

- 大正15年 岡崎謙が自庭に建立
- 昭和29年 子息岡崎三吉は能舞台を小樽市に寄贈
- 昭和36年 公会堂構内に移設(佐渡から北畠北次郎招聘)

※小樽市民会館

- 昭和32年 裁判所敷地跡か金子邸敷地跡を議会で審議
- 昭和34年 小樽市文化団体協議会から建設促進を請願
- 同年 議会で公会堂移転案浮上
- 昭和35年 小樽市民会館建設特別委員会設置

<『小樽市史第七巻』>

■外観

本道を代表する和風建築

■内観

- <公会堂> ①車寄せ/正面に唐破風の車寄せ
②梁/御紋を刻んだ蟬股を組む

- <能舞台> ①檜の舞台
②要所に佐渡産神代杉使用
③格式に則った能舞台
④鏡板の老松、唐獅子、若竹は狩野派17代乗信作

<「小樽市指定歴史的建造物一覧」><1991年日本建築学会論文 駒木定正>

■内容

明治44年皇太子宿泊所として創建され、戦後引揚者収容の寮、昭和25年内部を改築し市民の各種会合に使用、昭和36年現在地に移築と能舞台併設、昭和37年庭内整備をして現在に至る本道を代表する和風建築。



外観



唐破風の車寄せ



湾曲させた梁



要所に佐渡産神代杉使用

旧小樽区公会堂



公会堂側面と庭園



能舞台外観



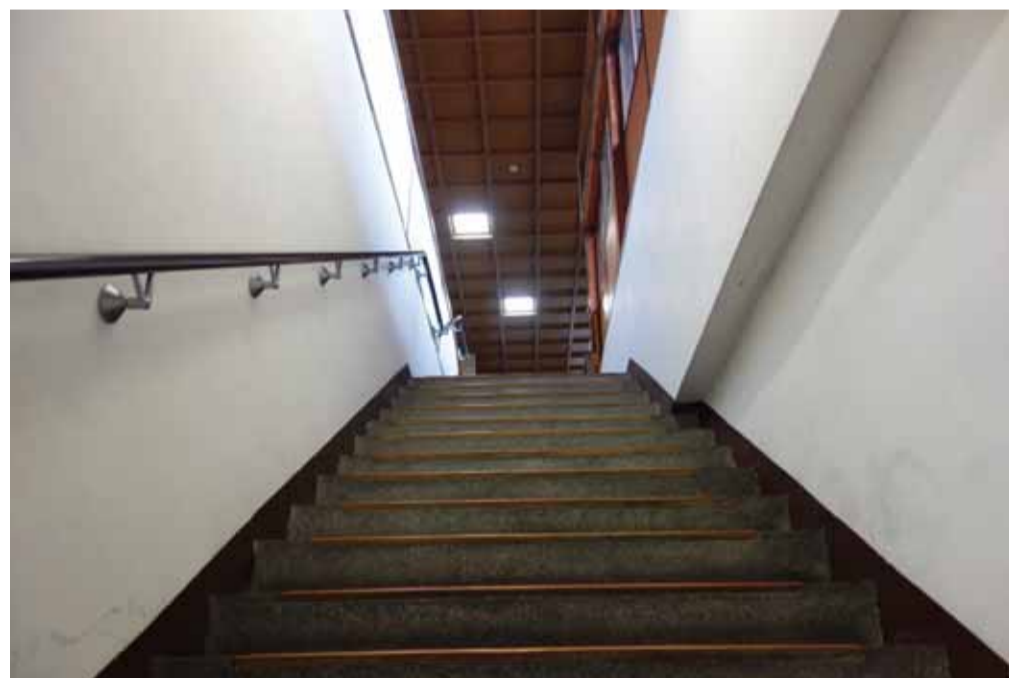
ホール入り口



若竹は狩野派17代乗信作



御紋を刻んだ墓股を組む



石の階段